

現代短歌分類辭典

第百二十二卷

津 端 亨 編 纂

津 端 亨 編 纂

現代短歌分類辞典

第一二二卷

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

現代短歌分類辭典

122

昭和六十年四月二十日発行

定価二、三〇〇円

著者発行
兼印刷者

津 端 亨

〒111

東京都台東区鳥越一―十一―八

発行所 現代短歌分類辭典刊行所

代表 津 端 亨

振替 東京 三一九三一―四番
電話 〇三(八五二)九八六九番

目

次

(第百二十二卷)

うつら—かなしく	歌数	—	移ら—し—て	数頁	一	頁数	三
うつらかに	—	—	うつら—らし—も	二	四	—	—
うつらがり	—	—	映ら—ず (終止形)	八	四	—	—
うつらく	二	—	映ら—ず	一	五	—	—
うつらごころ	—	—	移ら—ず	七	五	—	—
うつら—さびし	二	—	うつら—ず—や	一	五	—	—
鶉雑炊	一	二	うつらでり	二	六	—	—
うつら—ざり	二	二	映ら—てる	一	六	—	—
うつら—ざる	—	二	うつらどり	一	六	—	—
映ら—ざる—らし	—	二	映ら—ぬ	七	六	—	—
移ら—ざる—らし	—	三	移ら—ぬ	二	七	—	—
映ら—ざる—らむ	—	三	うつら—ぬ—ばかり	一	七	—	—
打つ—らし	—	三	映ら—ぬ—も	一	七	—	—
うつら—じ	—	三	映ら—ぬ—ば	一	七	—	—
うつら—しき	—	三	うつらねむり	一	八	—	—

うつら—の
うつら—の—とり
うつらひる—がほ
うづらふ
うつら—まし—か—ば
うつらまなこ
うつら—み—て
打つ—らむ
映つ—らむ
移ら—む（終止形）
移ら—む（連体形）
⑤うつ—らむ
移つ—ら—む—と
うつら—やむ
映つら—ん
⑥うつら—ん
移つら—ん

四 一 一 一 〇 二 六 五 八 四 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 〇 九 九 九 九 八 八 八 八 八

移つらーんーと
うつり
映り（名詞）
映り（連用形）
移り（名詞）
移り（連用）
映りあひ
映りあふ
移りーあるく
移りーいづる
うつりいーにーけり
映りーうつろふ
移り香
うつりーかがやく
移りーがたき
うつりーかねーつつ
移りかはり

一五	一	一	一	一	四〇	一	一	一	一	六	二	六八	一〇〇	九八	一四	一	二
四三	四三	四二	四二	四二	九	三九	三九	三八	三八	三八	三七	三二	二三	一五	一四	一四	一三

映りーける	八	六六
移りーける	三	六七
うつりーけるーらし	一	六七
映りこーし	二	六七
移りこーし	三一	六七
うつりーこず	一	七〇
映りこよ	一	七〇
移りこよーかし	一	七〇
うつりさき	一	七一
移りさし	一	七一
移りざま	二	七一
移りさりーし	一	七一
移りさる	一	七一
映りーし	二四	七二
移りーし	一四	七四
移りーしかーとも	一	七五
移りすまーば	一	七五

移りーしーと	一	七五
移りーしーならーむ	一	七五
移りすぎーたり	一	七六
移りすぎゆく	一	七六
映りすぐる	一	七六
うつりすまーばや	一	七六
移りすまひーて	一	七六
移りすみ	八	七六
移りすみきーて	三	七七
移りすみーけむ	一	七七
移りすみーけり	一	七八
移りすみーし	三	七八
移りすみーたる	三	七八
移りすみーて	八	七九
移りすみーてーは	一	七九
移りすみーにーき	一	七九
移りすみぬーき	一	八〇

移りとぶ(終止形)	二	一二〇	移りはてーて	一	一二七
移りとぶ(連体形)	二	一二〇	移りーはゆーけり	一	一二七
移りなき	一	一二〇	移りへーし	一	一二七
移りなきせーり	一	一二一	移りーましーき	一	一二七
移りなきたち	一	一二一	移りーましーし	二	一二七
移りなきーつつ	二	一二一	移りーましーつる	一	一二八
移りなく	四	一二一	移りーましーて	二	一二八
移りなくーも	一	一二二	移りーましーぬ	一	一二八
移りーにーき	一	一二三	移りますーらむ	一	一二八
移りーにーけらし	一	一二三	うつりまふ	一	一二八
映りーぬ	一八	一二二	うつりみちーて	一	一二八
移りーぬ	二三	一二四	うつりーもーはてーず	一	一二九
映りーぬるーかな	二	一二六	移りーもーやまーぬ	一	一二九
映りはえーつつ	一	一二六	移りゆかーねーば	一	一二九
映りはじめーた	一	一二六	移りゆかーば	一	一二九
映りはじめーぬ	一	一二六	移りゆき	一	一二九
うつりはて	一	一二六	移りゆきーたる	一	一二九

移りゆき―て
 移り―も―ゆく
 移りゆか―む
 移りゆき
 移りゆき―けらし
 移りゆき―けり
 移りゆき―し
 移りゆき―たり
 移りゆき―たる
 移りゆき―つつ
 移りゆき―て
 移りゆき―に―けり
 移りゆき―ぬ
 うつりゆく
 映りゆく（連用形）
 移りゆく（終止形）
 移りゆく（連体形）

移りゆく―かな	三	一四八
移りゆく―かも	一	一四八
移りゆく―なり	一〇	一四八
移りゆく―なる	一	一四九
移りゆく―に―も	一	一四九
移りゆく―は	一	一四九
移りゆく―べし	二	一五〇
移りゆく―まで―を	一	一五〇
移りゆく―らし	四	一五〇
移りゆく―らしく	一	一五〇
うつりゆく―らむ	一	一五一
移りゆく―を	二	一五一
移りゆく―ども	一	一五一
移りゆく―ば	一	一五一
移りゆく―り	一	一五一
うつりゐ	一	一五二
移りゐ―つ	一	一五二

映りぬ—つ
映りぬ—て
移りぬ—て
移りぬ—に—けり
映りぬ—む
映りぬる（終止形）
映りぬる（連体形）
移りぬる
移りぬる—なり
映りぬる—らし
移りぬる—らし
移りぬる
映りぬる
映りぬる—て
映りぬる
映る（終止形）
映る（連体形）

移る—と
 移る—と—て
 映る—と—は
 映る—とも
 映ること—も—なき
 移る—とも—なき
 映る—と—も—なく
 移る—と—も—なく
 移る—な
 うつる—なき
 移る—なし
 移る—なべ
 映る—なら—む—か
 映る—なり
 移る—なり
 映る—なり—けり
 映る—なり—とふ

一 九
 一 一
 一 一
 一 一
 二 二
 一 一
 一 一
 五 一
 一 一
 一 一
 二 二
 一 一
 一 一
 四 一
 三 一
 四 一

二四二
 二四二
 二四三
 二四三
 二四三
 二四三
 二四三
 二四三
 二四三
 二四四
 二四四
 二四四
 二四四
 二四四
 二四五
 二四五
 二四六
 二四七
 二四八

移る—なる—かな
 移る—なる—べし
 うつる—なる—らむ
 映る—に
 移る—に
 映る—の—は
 移る—のみ
 映る—のみ—なる
 映る—のみ—の
 映る—は
 移る—は
 移る—は—や
 移る—べし
 移る—べし
 映る—まで
 移る—まで
 うつる—まにまに

一 一
 二 二
 一 一
 一 一
 一 一
 一 一
 二 二
 五 二
 二 二
 一 一
 三 三
 五 三
 一 一
 三 三
 五 三

二四八
 二四八
 二四八
 二四九
 二四九
 二四九
 二四九
 二四九
 二五〇
 二五〇
 二五〇
 二五一
 二五一
 二五一
 二五一
 二五一
 二五二
 二五二
 二五二

映る—も (終止形)
 映る—も (連体形)
 移る—も
 うつる—や
 映る—やう—に—と
 映る—らし
 移る—らし
 移る—らし—も
 映る—らしむ
 移る—らしむ
 映る—らしむ
 映る—らしむ
 映る—を
 移る—を
 うつれ
 移れ
 移れ (已然形)

一	二	二	六	一〇	一	一	四	四	一	七	二	一	二	二	九	一五
二六〇	二六〇	二五九	二五八	二五八	二五七	二五七	二五七	二五六	二五六	二五六	二五五	二五五	二五五	二五五	二五二	二五二

映れ—ど	移れ—ば	映れ—ども	映れ—ば	移れ—ば	移れ—り	映れ—り	移れ—る	⑦ 移れ—る	映れ—る	⑦ 映れ—る	映れ—る	映れ—る—ごとく	移れ—る—と	映れ—る—なら—む	映れ—る—に	映れ—る—は
五	一	三	一五	一〇	一一	一一	一一	二	一三六	六	二	一	一	一	二	五
二六一	二六一	二六一	二六二	二六三	二六四	二六五	二七二	二七三	二七四	二八四	二八五	二八五	二八五	二八五	二八六	二八六

映れ—る—を
 うつろ（空）
 うつろあたま
 うつろあな（空洞）
 うろろかに
 空虚感
 うつろぎ（空木）
 うつろ雲
 うつろごころ
 うつろさ
 うつろしく
 うつろせみごゑ
 うつろだま
 うつろな
 うつろ—なす
 うつろなら—ね—ば
 うつろなり

七
 一二四
 一
 一
 一
 一
 二
 一
 一三
 三
 一
 一
 一
 七
 一
 一
 七
 三〇一
 二八六
 二八七
 二九七
 二九七
 二九七
 二九七
 二九八
 二九八
 二九八
 二九八
 二九九
 三〇〇
 三〇〇
 三〇〇
 三〇〇
 三〇〇
 三〇一
 三〇一

うつろなる
 うつろなる—らし
 うつろに
 うつろね
 うつろは—す
 うつろは—ず
 うつろは—ぬ
 うつろは—め—やも
 移ろひ
 映ろひ
 映ろひ（連用形）
 移ろひ（連用形）
 移ろひいそぐ
 うつろひがた
 映ろひ—し
 移ろひ—し
 うつろひそめ—し

五六
 一
 五一
 一
 一
 二
 四
 一
 一八
 五
 六
 八
 一
 四
 六
 八
 一
 一
 一八
 三〇二
 三〇七
 三〇七
 三一一
 三一一
 三一一
 三一一
 三一二
 三二三
 三二三
 三一五
 三一五
 三一五
 三一六
 三一六
 三一七
 三一七
 三一七
 三一八
 三一八

うつろひゆくーも	三	三三二
うつろひゆけーど	一	三三二
うつろひゆけーば	三	三三二
うつろひゆけよ	一	三三二
うつろひゆけーり	二	三三三
うつろひゆけーる	一	三三三
映つろふ(終止形)	五三	三三三
映ろふ(連体形)	一〇一	三三八
移ろふ(終止形)	五二	三四六
移ろふ	二	三五一
移ろふ(連体形)	一〇一	三五一
映ろふーごとく	一	三六〇
移ろふーごとく	二	三六〇
移ろふーと	六	三六〇
うつろふーな	一	三六一
うつろふーなべに	二	三六一
うつろふーに	一	三六一

うつろふーは	二	三六一
映ろふーばかり	一	三六二
映ろふーも	一	三六二
映ろふーまでーを	一	三六二
映ろふーらし	一	三六二
移ろふーらし	一	三六二
移ろふーらしき	二	三六二
うつろふーらしーも	三	三六三
移ろふーらむ	一	三六三
映ろふーを	一	三六三
うつろへ	一	三六三
うつろへーと	一	三六三
映ろへーば	三	三六四
移ろへーば	三	三六四
合計	三八七六	首

春の陽の蒸るるさ庭に子を抱きてうつら嗅ぐなり乳くさき手を(多磨三) 野田孝之

うつらーかなしく【副詞・形容詞】

こほりの上をふみゆく鴨の赤き脚のうつら悲しく朝眼には見ゆ(新萬葉集五) 高橋佳子

うつらかに【形容動詞】

雨晴れの土に沁み入る日の光うつらかに聞くこほろぎの①声(現代短歌大系) 土田耕平

うつらがり【名詞】

さと人のうつらがりせしあと見えて野べのすすきはした折れにけり① 明治天皇

うつらく【連語】

朝日影にほへる桜うまし子の産湯汲む井にうつらくよしも 村上成之

勾玉のますみの玉に澄み入りて心移らく夜は更けにけり① 原真弓

うつらごころ【名詞】

みち足れる恋のきはみのかなしさかうつら心に泣かまほしきは① 四賀光子

うつらかなしく